

CASIO®

P

3295P * JA

取扱説明書

3295

このたびは弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いますようお願い申し上げます。

本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。

なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

本機の特長

●タイドグラフ／ムーングラフ

潮の満ち引き、月齢や月の形を確認することができます。

●オートLEDライト

暗いところでも時計を傾けると表示を明るく照らします。

●ワールドタイム

世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を表示させることができます。

●ストップウォッチ

1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。

●タイマー

1 分単位で 24 時間までセットでき、1 秒単位で減算計測を行います。

●アラーム（3 本）・時報報知

アラームは 3 本（通常アラーム 2 本／スヌーズアラーム 1 本）セットでき、任意の時刻にアラームを鳴らすことができます。また、毎正時（00 分）に時報を鳴らすことができます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

- 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手が届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくるとサビ易くなります。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。





注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計脱着の際に、バンドの中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	表紙裏面	ストップウォッチの使い方	25
操作音について	5	計測のしかた.....	25
操作音の ON / OFF 設定.....	5	オートスタート機能.....	26
操作のしくみと表示の見方	6	タイマーの使い方	27
ライト点灯について	8	タイマー方法について.....	27
ボタンを押して点灯させる.....	8	電子音の報音について.....	27
時計を傾けて点灯させる.....	8	タイマーのセット.....	28
ライト点灯時間の切替え.....	10	タイマーの使い方 (減算計測のしかた).....	29
報音に合わせてライトを点滅させる	11	アラーム・時報の使い方	30
ON / OFF 設定.....	11	アラームについて.....	30
タイドグラフ (潮の様子) /		アラーム時刻のセット.....	30
ムーングラフ (月の形) の見方	12	アラームの ON / OFF 設定.....	31
「現在時刻のタイドグラフ」や		鳴っている電子音を止めるには.....	32
「今日のムーングラフ」を見る.....	12	モニターアラーム.....	32
調べたい日や調べたい時間のグラフを確認する.....	13	時報について.....	32
使用場所のセット.....	17	時報の ON / OFF 設定.....	32
参考.....	19	時刻・日付の合わせ方	33
ワールドタイムの使い方	23	時刻・日付・時差のセット	
都市の選択.....	23	(ホームタイムの設定).....	33
サマータイム (DST) について.....	23		
サマータイムの設定.....	23		
都市コード一覧.....	24		

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音の ON / OFF を切り替えることができます。

■ 操作音の ON / OFF 設定

「セット中（表示点滅）」や「アラームなどの電子音が鳴っているとき」以外の、どのモードのときでも、

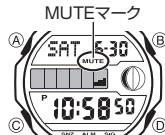
◎ ボタンを約 3 秒間押し
続けます

→ 確認音が鳴り、操作音の ON / OFF が切り替わります。

※ 操作音を OFF にしているときは、MUTE マークが点灯します。

※ ◎ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

※ 操作音が OFF でも、アラーム音、時報音、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音は鳴ります。



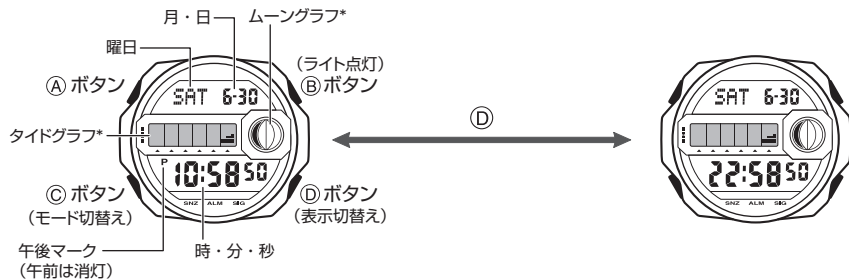
製品仕様	35
ご使用上の注意	38
お手入れについて	41
電池交換について	42
金属バンドの駒詰めについて	42

操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに、以下の順でモードが切り替わります。

※ タイド／ムーンモード、アラームモードで2～3分間何も操作を行わないと、自動的に時刻モードになります。

時刻モード



* タイドグラフ、ムーングラフについては、12ページを参照。

★曜日の見方

SUN	: 日	MON	: 月	TUE	: 火
WED	: 水	THU	: 木	FRI	: 金
SAT	: 土				

★12/24時間制表示切替え

時刻モードのとき、(D) ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示が切り替わります。

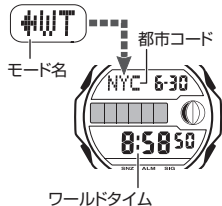
※アラームモードから時刻モードに切り替わるとき、モード名"◆HT"(HT=ホームタイム)が表示されてから、時刻が表示されます。

タイド／ムーンモード



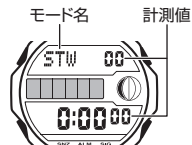
P-12

ワールドタイムモード



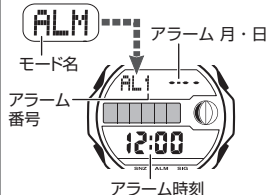
P-23

ストップウォッチモード



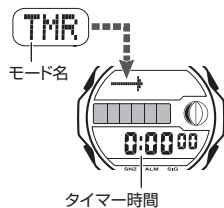
P-25

アラームモード



P-30

タイマーモード



P-27

ライト点灯について

暗い場所で表示を見たいときは、ボタンを押してライトを点灯させることができます。また、時計を傾けるとライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる

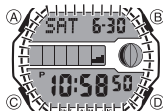
～手動点灯～

「セッ集中（表示点滅）」以外の、どのモードのときでも、

② ボタンを押します

※ 点灯時間は約 1.5 秒間と約 3 秒間のいずれかを選ぶことができます（10 ページ参照）。

※ オートライト OFF のときも、
② ボタンを押すと点灯します。



本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

■ 時計を傾けて点灯させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても時計を傾けるだけでライトが点灯する便利な機能です。暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけでライトが約 1.5 秒間または約 3 秒間点灯します。

準備：時刻モードのとき、② ボタンを約 3 秒間押し続けて、オートライト ON（オートライト ON マーク点灯）にします。

オートライト ON マーク



※ オートライト ON のとき、時刻モードで ② ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF（オートライト ON マーク消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる



※ オートライト機能を使用するときは、時計を「**手首の外側**」にくるようにつけてください。

※ 文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内においてください。15°以上傾いていると点灯しにくくなります。



〈ご注意〉

- 直射日光下ではライト点灯が見えにくくなります。
- ライト点灯中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、オートライト ON にしてから約 6 時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライト OFF になります。
- ※ 引き続きオートライトを作動させたいときは、再度時刻モードで **Ⓑ** ボタンを約 3 秒間押し続けてオートライト ON マークを点灯させてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
- 時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- ライト点灯後、時計を傾けたままにしても、点灯は約 1.5 秒間または約 3 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕をあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ず OFF** しておいてください。
- ※ 時計を「手首の内側」につけるときは、できるだけオートライトを OFF にご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

■ ライト点灯時間の切替え

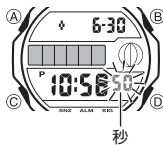
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

A ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ 「秒」 が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 点灯時間を切り替える

B ボタンを押します

→ **B** ボタンを押すごとに約 1.5 秒間と約 3 秒間が切り替わります。

※ ♠ マーク=約 1.5 秒間

※ ♠♠ マーク=約 3 秒間



3. セットを終わる

A ボタンを 2 回押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

報音に合わせてライトを点滅させる

アラーム・時報、タイマーのタイムアップ音、ストップウォッチのオートスタート音に連動して、ライトを点滅させることができます。

■ ON / OFF 設定

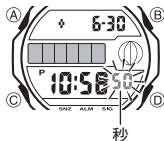
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒ 「秒」が点滅します。

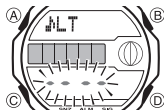
※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



2. 「報音に合わせてライト点滅」設定「♪LT」を選ぶ

Ⓒ ボタンを 8 回押します

⇒ 「♪LT」が点灯し、「-----」または「SYNC」が点滅します。



3. ON / OFF を切り替える

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに ON 「SYNC」と OFF 「-----」が切り替わります。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを 2 回押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

★ ON に設定しているときは、ストップウォッチモード、タイマーモード、アラームモードに切り替えると、1 秒間「SYNC」が表示されてから各モードの表示になります。

タイドグラフ(潮の様子) / ムーングラフ(月の形)の見方

タイドグラフ、ムーングラフは、使用する場所のデータ(時差・経度・月潮間隔)や日時などから「潮の様子」や「月の形」を算出して表示します。ご使用前に17ページをご覧ください。あらかじめ使用する場所のデータ(時差・経度・月潮間隔)をセットしてください。

※ 工場出荷時は「使用場所=東京(時差+9.0、経度140°E)、月潮間隔=5時間20分」にセットされています。

ご注意

本機で表示される情報は、航海の用に供するものではありません。航海には必ず海上保安庁刊行の潮汐表を使用してください。

本機のタイドグラフ表示は、あくまで潮の満ち干きの様子を見る“目安”としてお使いください。

■「現在時刻のタイドグラフ」や「今日のムーングラフ」を見る

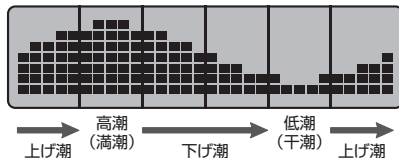
時刻モードで確認することができます。

●現在のタイドグラフを見る

～ (潮の様子) ～

時刻モードのとき、現在時刻(時刻モードの時刻)のタイドグラフが表示されます。

※ 本機のタイドグラフ表示は以下のように6つの部分で「潮の様子」を表わします。



●今日のムーングラフを見る～(月の形)～

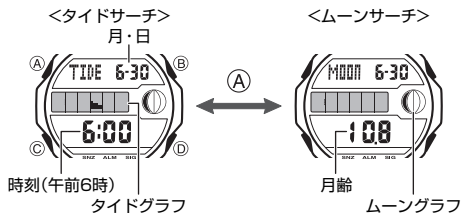
時刻モードのとき、今日（時刻モードの日付）の正午時のムーングラフが表示されます。

※ムーングラフが示す月の形は、点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形=見える形」です（19ページ参照）。



■調べたい日や調べたい時間のグラフを確認する

6ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい③ボタンを押して、タイド/ムーンモードにします。タイド/ムーンモードに切り替えると、タイドサーチまたはムーンサーチとなります。



- ※ タイドサーチまたはムーンサーチは前回見た方が最初に表示されます。
- ※ タイド/ムーンモードでは ③ ボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。
- ※ タイドサーチに切り替えたときは、「今日（時刻モードの日付）」の「午前6時」の状態を表示します。

●当日(時刻モードの日付)の各正時(00分)のタイドグラフを見る

タイドサーチを表示しているとき、

④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに1時間ずつ進みます。

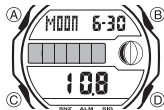
※ ④ ボタンを押し続けると早送りができます。



●日にちを送って探す

1. ムーンサーチにする

④ ボタンを押します



2. 日にちを探す

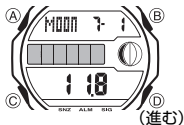
④ ボタンを押します

→ ④ ボタンを押すごとに1日ずつ進みます。

※ 選んでいる日にちの月齢とムーングラフが表示されます。

※ ④ ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 2000年1月1日～2099年12月31日までのサーチができます。



3. タイドグラフを見るときは…

Ⓐ ボタンを押します



4. 時刻を探す

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。

※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。

※ Ⓓ ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 2. で指定した日にちの中でのみ探すことができます。



●日にちを指定して探す

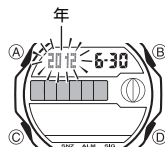
1. セット状態にする

タイド/ムーンモードのとき、

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒ サーチ方法が切り替わった後、年が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

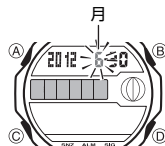
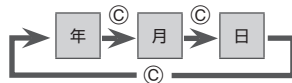


2. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ 点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできます。



3. 点滅箇所をセットする

① または ② ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ ①・② ボタンとも押し続けると早送りができます。



手順 2. ~ 3. の操作を繰り返して、年・月・日をセットします。

※ セットは 2000 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日までできます。

4. セットを終わる

③ ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。



★ サーチ方法を切り替えるときは…

① ボタンを押すごとにタイドサーチとムーンサーチが切り替わります。

★ タイドサーチのときは…

① ボタンを押すごとに 1 時間ずつ進みます。

※ 選んでいる日時のタイドグラフが表示されます。

※ ① ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 指定した日にちの中でのみ探すことができます。

★ ムーンサーチのときは…

① ボタンを押すごとに 1 日ずつ進みます。

※ 選んでいる日にちの月齢とムーングラフが表示されます。

※ ① ボタンを押し続けると早送りができます。

※ 2000 年 1 月 1 日 ~ 2099 年 12 月 31 日までのサーチができます。

■ 使用場所のセット

- 使用場所のセットは、一度行えば再びセットする必要はありません。ただし、引っ越しや旅行などで大きく移動したときは、その場所に合わせてセットしなおしてください。
- 工場出荷時は「使用場所＝東京（時差＋9.0、経度140° E）、月潮間隔＝5時間20分」にセットされています。

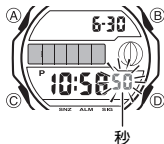
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

⇒秒が点滅します。

- ※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

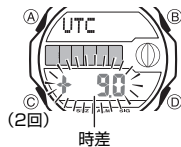


2. 時差のセット状態にする

◎ ボタンを2回押します

⇒時差が点滅します。

- ※ 時差については24ページの「都市コード一覧」をご覧ください。

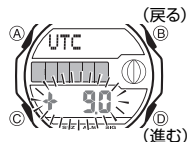


3. 「協定世界時 (UTC)」 との時差をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに0.5時間ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに0.5時間ずつ戻ります。

- ※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。
- ※ 時差は0.5時間単位で-12.0～+0.0～+14.0時間までセットできます。
- ※ サマータイム (DST) のON/OFFにご注意ください。
* サマータイム (DST) については23ページ参照。
- ※ UTC=Coordinated Universal Time (協定世界時)



4. 経度のセット状態にする

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 経度値が点滅します。



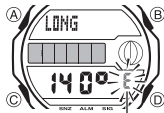
経度値

5. セット箇所を選ぶ

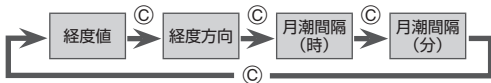
Ⓒ ボタンを押します

⇒ 点滅箇所が以下の順で切り替わります。

※ 点滅箇所がセットできません。



経度方向



※ 経度をセットするときは 21 ページの「日本の経度」を、月潮間隔をセットするときは 22 ページの「月潮間隔一覧表」を参照してください。

6. 経度と月潮間隔をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します



月潮間隔
(時)

月潮間隔
(分)

★ 経度値をセットするときは…

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに 1 度ずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに 1 度ずつ戻ります。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも押し続けると早送りができます。

※ 経度値は 1° 単位で 0 ~ 180° までセットできます。1° 未満の端数は丸めて入力してください。
例) 50° 40' = 51°

※ LONG=Longitude (経度)

★ 経度方向をセットするときは…

Ⓓ ボタンを押します

⇒ Ⓓ ボタンを押すごとに E (東経) と W (西経) が切り替わります。

★月潮間隔をセットするときは…

① または ② ボタンを押します

⇒① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※ ①・② ボタンとも押し続けると早送りができます。

※ INT=Lunitidal Interval (月潮間隔)

手順 5. ~ 6. の操作を繰り返して、経度と月潮間隔をセットします。

7. セットを終わる

③ ボタンを押します

⇒点滅が止まり、セット完了です。

■参考

●月齢表示の見方

月の形	新月		上弦		満月
月齢	0.0~1.8	1.9~5.5	5.6~9.2	9.3~12.9	13.0~16.6
表示					

月の形		下弦		新月
月齢	16.7~20.2	20.3~23.9	24.0~27.6	27.7~29.5
表示				

- ムーングラフが示す月の形は、点灯している部分が「月の影」で、点灯していない部分が「月の形=見える形」です。



- 月の形は表示日の「正午」において、北半球を基準として月を南向きに見上げたときのおおよその形です。

※ 月の左右どちらが欠けているかのみを表現するものであり、実際に見える月の形とは異なります。なお、南半球や赤道付近で北寄りに月が見えるときは左右逆に見えます。

- 月の形は、時刻・日付および使用場所を正しくセットしておかないと正しく表示されませんのでご注意ください。

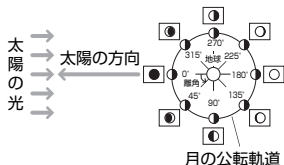
●月の満ち欠けと月齢

月は約 29.53 日の周期で満ち欠けを繰り返します。これは月の公転により地球と太陽に対する月の位置(月の離角)が少しずつずれることで、地球から見た月の影の見え方が変わるためです。

なお、月の満ち欠けや月相のことを天文用語では「月の盈虚(えいきょ)」といいます。

※ 月齢…新月(朔:さく)からの経過時間を日数で表わした
もの。

※ 月の離角…地球から見て太陽の見える方向からの角度



□内は地球から見た月の形(北半球基準)

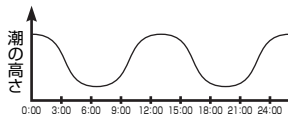
月の満ち欠け	月の離角	月齢
新月(朔:さく)	0°	0.0日
上弦	90°	約7.4日
満月(望:ぼう)	180°	約14.8日
下弦	270°	約22.1日

※ なお、本機は月の平均朔望周期(29.53日)を利用した計算法で算出しているため、実際の月齢との誤差は±1日になることがあります。

●タイド(潮汐)とは

地球上の海面は、約6時間ごとに高くなったり、低くなったりする昇降運動を繰り返しています。

これは、潮汐(ちょうせき)と呼ばれ、主に月の引力に作用されて起こる現象です。



●本機のタイドグラフは

本機は、月の正中時間と月潮間隔から、潮の満ち干きの様子をグラフ表示(=タイドグラフ)します。地域(港)により月潮間隔が異なるため、あらかじめその時間(=月潮間隔)を本機に設定しておく必要があります。地域ごとの月潮間隔は22ページ「月潮間隔一覧表」を参照してください。

※ なお、日本海側および半月(小潮)のときは、潮汐現象がはっきり現れないため、誤差が大きくなります。

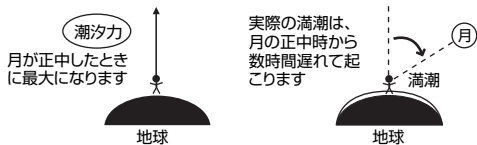
●月潮間隔について

理論上では、月が正中したとき（下図左）に高潮（満潮）になり、その約6時間後に低潮（干潮）になるといわれています。ただし、実際の地球上では、海水の粘性や摩擦、海底の地形などの影響によって正中時より遅れて高潮になります（下図右）。この時間差を「月潮間隔」と呼びます。

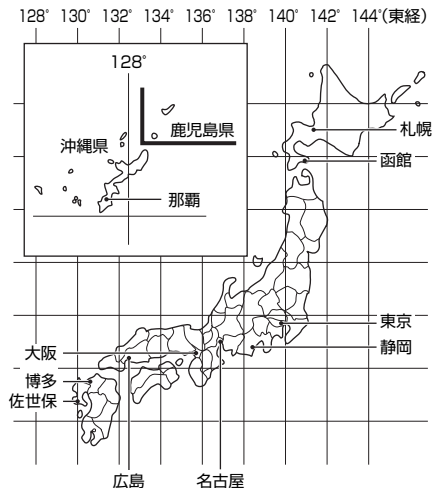
月が正中後、高潮になるまでの時間差を「高潮間隔」、低潮になるまでの時間差を「低潮間隔」と呼び、この2つを総称して「月潮間隔」といいます。

「月潮間隔」は同じ日本国内でも地域（港）により異なります。

なお、それぞれの地域で長期間にわたって調査した「高潮間隔」の平均値を「平均高潮間隔」といいます。



●日本の経度



●月潮間隔一覧表

～日本の港における平均高潮間隔～

この表の使い方

本機を使用する場所（港）を探し、その場所に一番近い地域の月潮間隔を読み取り、その時間を本機に入力すると、その場所でのタイドグラフを表示できます。

地域	地(港)名	平均高潮間隔 時 分	地域	地(港)名	平均高潮間隔 時 分	地域	地(港)名	平均高潮間隔 時 分
北海道北岸	紋別*	3:04	東京湾	千葉灯標	5:15	四国南岸	高知	5:59
北海道西岸	稚内*	3:59		東京／芝浦	5:18	豊後水道	宇和島	7:15
	留萌*	4:23		横浜／新山下	5:18	南方諸島	八丈島／神湊	5:28
	小樽*	4:10		横須賀	5:15		父島／二見	6:27
北海道南岸	函館	3:46	瀬戸内海	和歌山	6:29	本州北西岸	浜田	12:11
	室蘭	3:37		小松島	6:13		境	2:20
	苫小牧	3:39		大阪	7:25		舞鶴／第1区	2:27
	浦河	3:41		神戸	7:28		富山	2:50
	釧路	3:39		姫路／飾磨*	11:08		新潟／西区	3:02
本州北岸	青森	3:32		宇野	11:10		秋田	3:16
	大湊	3:44		高松	11:15	九州北岸	博多／東浜新心頭	9:36
本州東岸	八戸	3:37		水島	11:18		唐津	9:22
	釜石	3:53		尾道	11:03		対馬／巖原	8:42
	塩釜／港橋	4:04		新居浜	11:01	九州西岸	佐世保	8:17
	小名浜	4:15		広島	9:36		長崎／松ヶ枝	7:55
	鹿島	4:23		呉	9:38		三池	8:50
本州南岸	南伊豆(小瀬)	5:36		松山	9:07		三角	8:42
	清水	5:47		大分／鶴崎	8:22	九州南岸	鹿児島	7:05
	衣浦／武豊	6:04		苅田	8:53	九州東岸	油津	6:01
	名古屋	6:09		徳山	8:41		細島	6:06
	四日市	6:05		宇部	8:49	南西諸島	奄美大島／名瀬	6:49
	尾鷲	5:54		下関／壇の浦	8:58		那覇	6:50
	串本	6:02		門司／旧門司	8:57			
	田辺	5:58		八幡	9:52			

※上記の表は、高潮と低潮が1日2回ずつおきるときの月潮間隔を記載しています。ただし、*印のついた地域は、高潮と低潮の間隔にばらつきがあるため、季節により高潮と低潮が1日1回ずつしか起きないことがあります。このような時期では、本機のタイドグラフと実際の潮汐現象とが大きく異なりますのでご注意ください。

出典：海上保安庁「書誌第781号 平成10年 潮汐表 第1巻 日本及びその付近」
水路図誌利用「海上保安庁図誌利用 第100043号」

ワールドタイムの使い方

ワールドタイムモードでは、世界 29 タイムゾーン（48 都市）の時刻を簡単に知ることができます。

※ ワールドタイムモードに切り替えると、前回選んだ都市の時刻を表示します。

※ 時刻モードで現在時刻（ホームタイム）および時差をセットすると、時差にしたがい他の都市の時刻も自動的にセットされます。

※ 現在時刻を 24 時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

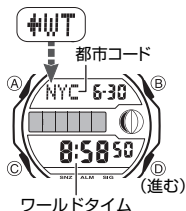
■ 都市の選択

ワールドタイムモードのとき、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに「都市コード」が 1 つずつ進みます。

※ ① ボタンを押し続けると早送りができます。



6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
① ボタンを押して、ワールドタイムモードにします。

■ サマータイム(DST)について

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻（スタンダードタイム）から 1 時間進める夏時間制度のことです。

- サマータイムを採用していない国や地域があります。
- サマータイムを採用していても、その期間は国や地域により異なります。

■ サマータイムの設定

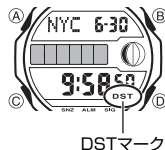
1. ワールドタイムモードのとき、② ボタンを押してサマータイム設定したい都市コードを選びます。

2. ③ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ DST マークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

※ DST マークが点灯しているときに、③ ボタンを約 1 秒間押し続けると通常の時刻に戻ります。

※ 都市ごとにサマータイムの設定ができます。



■ 都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
PPG	- 11	パゴパゴ	I ST	+ 2	イスタンブール
HNL	- 10	ホノルル	CA I	+ 2	カイロ
ANC	- 9	アンカレジ	JRS	+ 2	エルサレム
YVR	- 8	バンクーバー	MOW	+ 3	モスクワ
SFO	- 8	サンフランシスコ	JED	+ 3	ジェッダ
LAX	- 8	ロサンゼルス	THR	+ 3.5	テヘラン
DEN	- 7	デンバー	DXB	+ 4	ドバイ
MEX	- 6	メキシコシティ	KBL	+ 4.5	カブール
CHI	- 6	シカゴ	KHI	+ 5	カラチ
MIA	- 5	マイアミ	MLE	+ 5	マーレ
NYC	- 5	ニューヨーク	DEL	+ 5.5	デリー
*CCS	- 4	カラカス	DAC	+ 6	ダッカ
YYT	- 3.5	セントジョンズ	RGN	+ 6.5	ヤンゴン
RIO	- 3	リオデジャネイロ	BKK	+ 7	バンコク
RAI	- 1	プライア	SIN	+ 8	シンガポール
LIS	0	リスボン	HKG	+ 8	香港
LON	0	ロンドン	BJS	+ 8	北京
BCN	+ 1	バルセロナ	SEL	+ 9	ソウル
PAR	+ 1	パリ	TYO	+ 9	東京
MIL	+ 1	ミラノ	ADL	+ 9.5	アデレード
ROM	+ 1	ローマ	GUM	+ 10	グアム
BER	+ 1	ベルリン	SYD	+ 10	シドニー
ATH	+ 2	アテネ	NOU	+ 11	ヌーメア
JNB	+ 2	ヨハネスブルグ	WLG	+ 12	ウェリントン

※ この表は 2010 年 12 月現在作成のものです。

※ この表の時差は協定世界時 (UTC) を基準としたものです。

※ 各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

* 2007 年 12 月に CCS (カラカス) の時差が「- 4.5」に変更になっていますが、本機では対応しておりません。「時差 - 4 の地域」としてご使用ください。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99 (24 時間計) まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

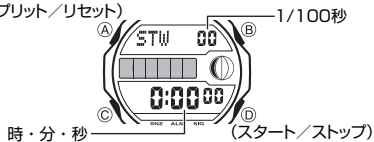
■ 計測のしかた

ストップウォッチモードのとき、

① ボタンを押します

→ ① ボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。

(スプリット/リセット)



★ 計測中に ① ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリット計測となります ("SPL" が点灯)。

※ スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。

★ 計測ストップ後 ① ボタンを押すと、計測値が 0 に戻ります (リセット)。

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
② ボタンを押して、ストップウォッチモードにします。

● 通常計測



<積算計測>

ストップ後リセットせずに ② ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

● スプリットタイム (途中経過時間) の計測



<スプリット計測中>



● 1・2 着同時計測



■ オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。

● オートスタート設定をする

計測リセット状態のとき、**Ⓐ** ボタンを押します

→ **Ⓐ** ボタンを押すごとに、通常表示とオートスタート表示が切り替わります。

<オートスタート表示>
カウントダウン秒数



● オートスタートで計測を開始する

オートスタート表示のとき、**ⓓ** ボタンを押します

→ 5秒前からカウントダウンを始めます。3秒前からは1秒ごとに電子音が鳴ります。

※ カウントダウンを中止してすぐにスタートさせたいときは、**ⓓ** ボタンを押します。

※ 計測開始後は、通常のストップウォッチのボタン操作と同様になります。

※ 計測を終了してリセットすると、オートスタート設定も解除されます。

タイマーの使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、タイマーモードにします。

タイマー時間は 1 分単位で 24 時間までセットすることができ、1 秒単位で減算計測を行います。
また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

■ タイマー方法について

本機のタイマーは以下の 2 種類があり、使い方に合わせてお好きな方を選ぶことができます。

* タイマー方法の選び方については 28 ページ参照。

● リピートタイマー（繰り返し計測）

タイムアップすると、タイマー時間を表示して、計測が止まります。同じ時間を何回も計測するとき便利です。

● オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）

タイムアップしても、計測ストップするまで自動的にタイマー時間に戻り、繰り返し計測を行います。

■ 電子音の報音について

本機のタイマーは以下のように電子音が鳴ります。

* 予告音の ON / OFF 設定については 29 ページ参照。

● 予告音 ON に設定したときは

残り時間 5 分 10 秒～ 5 分のとき	1 秒ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 4 分～1 分 のとき	1 分ごとに電子音が鳴ります。
残り時間 30 秒	電子音が 1 秒鳴ります。
残り時間 10 秒～0 秒 (タイムアップ)	1 秒ごとに電子音が鳴ります。

※ セットした時間が 5 分以下のときは途中から鳴ります。

● 予告音 OFF に設定したときは

セットした時間を経過すると 10 秒間の電子音でタイムアップを知らせます。

※ 電子音が鳴っているときに、いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■ タイマーのセット

準備：タイマー計測中の場合は、**④** ボタンを押して計測を停止してから **①** ボタンを押して計測時間をリセットします。
タイマー計測がストップしている場合は、**①** ボタンを押して計測時間をリセットします。

1. セット状態にする

タイマーモードのとき、

① ボタンを約 1 秒間押し続けます

→タイマー時間の「時」が点滅します。

※ セット状態で 2～3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。



タイマー時間(時)

2. 「時」をセットする

④ または **②** ボタンを押します

→ **④** ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、**②** ボタンを押すごとに戻ります。

※ **④**・**②** ボタンとも、押し続けると早送りができます。

※ 1 分単位で 24 時間までセットできます。

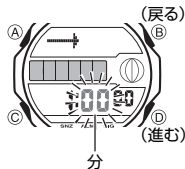
※ 24 時間をセットするとき、表示を "0 : 00" にします。



3. 「分」をセットする

③ ボタンを押します

→ 「分」が点滅します。「分」も「時」と同様に **④** または **②** ボタンでセットします。



4. タイマー方法を切り替える

- ◎ ボタンを押してから、
- ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとにリピートタイマー “→” とオートリピートタイマー “↺” が切り替わります。

オートリピートマーク



5. 予告音の ON / OFF を切り替える

- ◎ ボタンを押してから、
- ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに ON / OFF が切り替わります。

- ※ ♪ ON = 予告音 ON
- ♪ OFF = 予告音 OFF



6. セットを終わる

- ◎ ボタンを押します

→点滅が止まり、セット完了です。

■ タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、

- ◎ ボタンを押します

→◎ ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。

※ 1秒単位で計測を行います。

(リセット)



(スタート/ストップ)
時・分・秒

- ★ 計測ストップ後 (A) ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります (リセット)。
- ★ (D) ボタンでストップ後もう一度 (D) ボタンを押すと、表示タイムに引き続き計測を始めます。

アラーム・時報の使い方

6 ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
◎ ボタンを押して、アラームモードにします。

■ アラームについて

● 通常アラーム (AL1 ~ AL2)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

● スヌーズアラーム (SNZ)

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回音を繰り返します。

なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

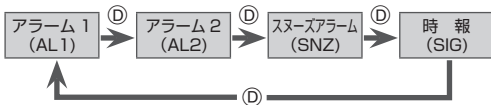
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに表示が以下の順で切り替わります。セットしたいアラームを選びます。



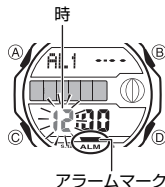
2. セット状態にする

◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます

→ 「時」 が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラーム ON になります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

※ セット状態で 2 ~ 3 分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

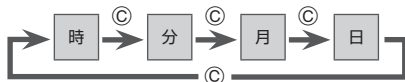
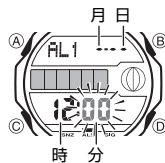


アラームマーク

3. セット箇所を選ぶ

◎ ボタンを押します

→ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。セットしたい箇所を点滅させます。



4. 点滅箇所のセット

① または ② ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに 1 つずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。

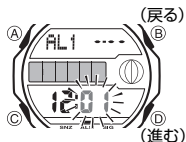
※ 「月」や「日」をセットしないときは、「-」または「- -」を表示させます。

※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 現在時刻を 24 時間制にしているときは、アラーム時刻も 24 時間制で表示されます。

※ 「時・分」に加えて、「月」や「日」をセットすることにより、以下のようにアラームを鳴らすタイミングが選べます。

- ・ 毎日鳴らす → 「時・分」のみセット
- ・ 指定月に毎日鳴らす → 「月・時・分」のみセット
- ・ 毎月同じ日に鳴らす → 「日・時・分」のみセット
- ・ 指定月日に鳴らす → 「月・日・時・分」すべてセット



■ アラームの ON / OFF 設定

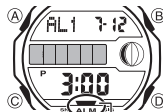
準備：アラームモードのとき、① ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。

① ボタンを押します

⇒ ① ボタンを押すごとに、アラームの ON / OFF が切り替わります。

※ アラームマークが点灯しているときが ON となり、アラームが鳴ります。なお、スヌーズアラームのときはスヌーズマークも点灯します。

<アラーム1表示>



アラームマーク

<スヌーズアラーム表示>



スヌーズマーク

アラームマーク

5. セットを終わる

① ボタンを押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

■ 鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと、音が止まります。

- ※ スヌーズアラームのときは、約 5 分後に再び鳴り出します（スヌーズアラーム機能中はスヌーズマークが点滅します）。
- ※ スヌーズアラーム機能中に以下の操作を行うと、点滅が止まり、スヌーズアラームが終了します。
 - スヌーズアラームを OFF に切り替えたとき。
 - スヌーズアラームをセット状態にしたとき。
 - 時刻モードでセット状態にしたとき。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき ⑩ ボタンを押し続けると、押し続けている間、電子音が鳴ります。

■ 時報について

毎正時（00 分のとき）に“ピッピッ”と電子音を鳴らすことができます。

■ 時報の ON / OFF 設定

準備：アラームモードのとき、⑨ ボタンを押して、時報表示を選びます。

⑨ ボタンを押します

⇒ ⑨ ボタンを押すごとに、時報の ON / OFF が切り替わります。

※ 時報マークが点灯しているときが ON となり、時報が鳴ります。



時刻・日付の合わせ方

以下の操作は時刻モードで行います。

■ 時刻・日付・時差のセット (ホームタイムの設定)

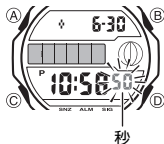
1. セット状態にする

時刻モードのとき、

(A) ボタンを約1秒間押し続けます

⇒「秒」が点滅します。

※ セット状態で2～3分間何も操作を行わないと、自動的にセット状態が解除されます。

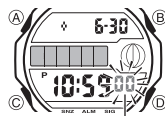


2. 秒合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて**(D) ボタン**を押します

⇒「00秒」からスタートします。

※ 秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分繰り上がって「00秒」になります(時報は「時報サービス117番」が便利です)。



00秒になる

3. サマータイム (DST) のON / OFFを切り替える

(C) ボタンを押してから、**(D) ボタン**を押します

⇒**(D) ボタン**を押すごとにON / OFFが切り替わります。

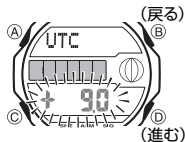
※ **OFF** =スタンダードタイム (通常時間)
ON =サマータイム (夏時間)

* サマータイム (DST) については23ページ参照。



4. 「時計を使用する地域の時刻（ホームタイム）」と「協定世界時（UTC）」との時差を設定する

◎ ボタンを押してから、
 ① または ② ボタンを押します



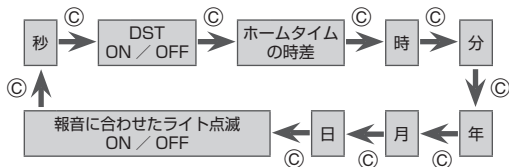
⇒ ① ボタンを押すごとに「時差」が0.5時間ずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

- ※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 時差を設定してから、時刻セットを行ってください。

5. 「時刻・日付」合わせ

a. ◎ ボタンを押します

⇒ ◎ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. ① または ② ボタンを押します



⇒ ① ボタンを押すごとに1つずつ進み、② ボタンを押すごとに戻ります。

- ※ ①・② ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- ※ 「時」のセットのとき午前／午後 (P)、または24時間制にご注意ください。
- ※ 「年」は2000年～2099年の範囲内でセットできます。「曜日」は自動的に設定されますので、「年」は正しくセットしてください。
- ※ カレンダーはうるう年、大の月および小の月を判別するフルオートカレンダーです。

6. セットを終わる

◎ ボタンを2回押します

⇒ 点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz

精度：平均月差± 15 秒

基本機能：時・分・秒、
午前／午後 (P) / 24 時間制表示、
月・日・曜日、
フルオートカレンダー
(2000 ~ 2099 年)

タイド／ムーン：タイドグラフ、ムーングラフ、月齢、
グラフ機能 時刻・日サーチ機能

ワールドタイム機能：世界 29 タイムゾーン (48 都市) の
時刻を表示、サマータイム設定

ストップウォッチ機能：計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能 = 通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測、
オートスタート機能

タイマー機能：セット単位 = 1 分
計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 24 時間
リピートタイマー／オートリピートタイマー切替え、予告音 ON/OFF 切替え

アラーム機能：時刻アラーム

通常アラーム = 2 本
スヌーズアラーム = 1 本
セット単位 = 時・分・月・日
電子音 = 10 秒間
時報 毎正時に電子音で報知

その他：自動復帰機能、
サマータイム設定、
12/24 時間制表示切替え、
モニターアラーム、
オート LED ライト、
報音に合わせたライト点滅、
操作音 ON/OFF 切替え

使用電池：CR2025 1 個 (電池別途販売)

電池寿命：約 7 年

(電子音 10 秒間/日、ライト 1.5 秒間/日、予告付タイマー計測 (タイムアップ 1 回) 1 回/週、オートスタートストップウォッチ計測 1 回/週 (報音に合わせてライトを点滅) 使用した場合)



memo

ご使用上の注意

■ 防水性

- 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏蓋に表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水=スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタン操作をしないでください。
- 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等(石鹸・シャンプーなど)のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的(2~3年を目安)なパッキン交換をおすすめします。

- 電池交換の際、防水試験を行いますので、必ずお買い上げの販売店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水がかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理する必要があります。
- 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■ バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは劣化やさび(錆)などにより切れたり外れたりする場合があります。時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理(有償)または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換(有償)をお申し付けください。

■ 温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- + 60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+ 40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■ 磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■ 静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■ 薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■ 保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ 樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくとも色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。

- 樹脂部品の交換は、「修理サービス窓口」にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■ 天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当たったり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■ 金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび(錆)が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って、良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■ 抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■ 液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなる場合があります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■ お手入れのしかた

- ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚したり、皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください。樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■ お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

- 電池交換は必ずお買い上げの販売店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有償となります）。
- 樹脂（外装）部品は日々のご使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。電池交換ご依頼品の樹脂部分にヒビなどの異常がある場合、破損の恐れがありますので作業を行わずにご返却する旨のご案内をさせていただいております。あらかじめご了承ください。

■ 最初の電池

- お買い上げの時計に組み込まれている電池（モニター用電池）は、工場出荷時点で時計の機能や性能をチェックするために組み込まれたものです。
- お客様がお買い上げになるまでの期間に電池は消耗しますので、モニター用電池は取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

■ 電池の消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド（フリータイプの中留構造バンド※を除く）の駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、「持込修理サービス受付窓口」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、「持込修理サービス受付窓口」または「修理に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

（例）

